

Kodak

LICENSED PRODUCT

Black

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

White

Magenta

Yellow

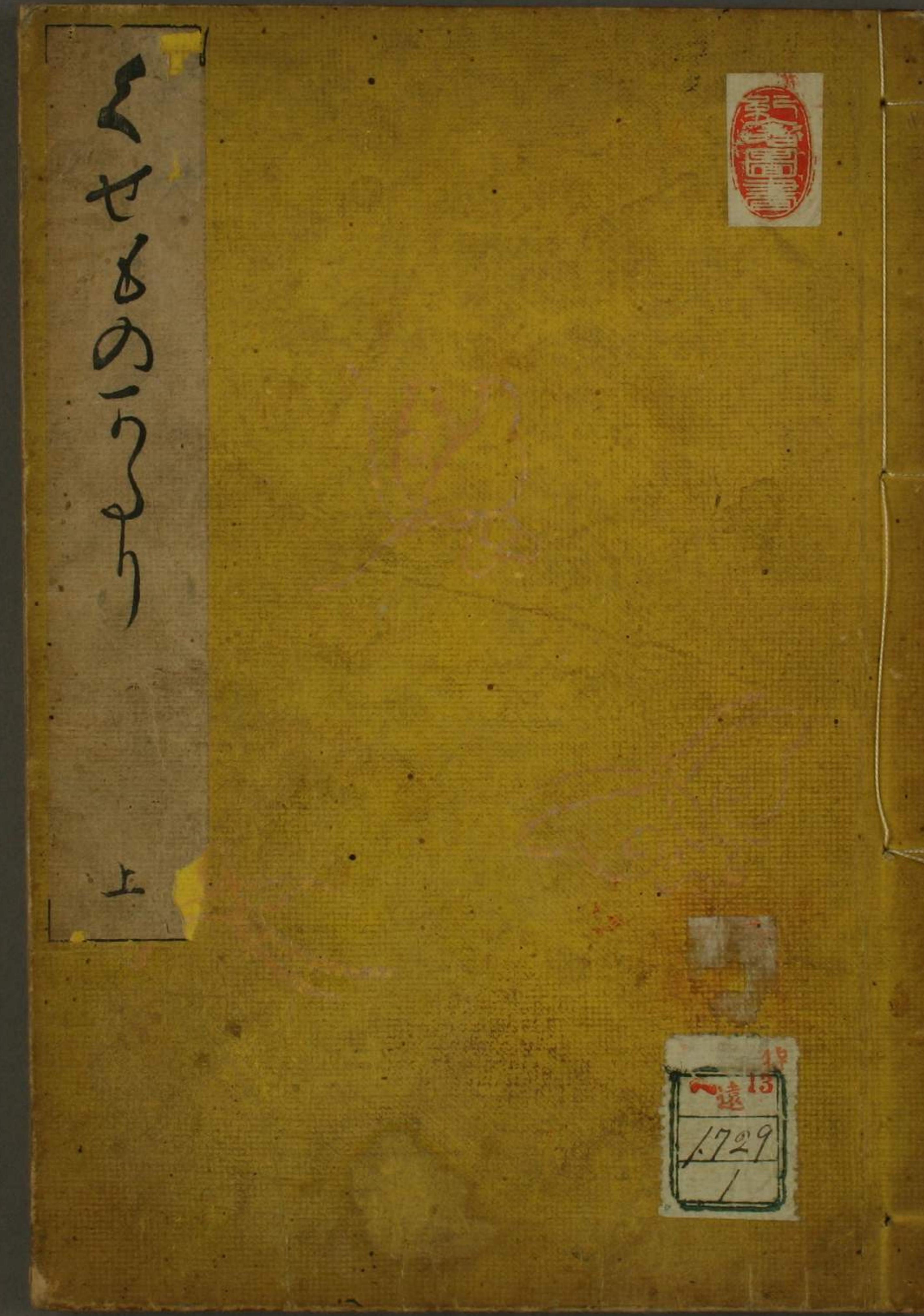
Green

Cyan

Blue

Centimetres

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4

門號
1729



上田秋成翁藏書

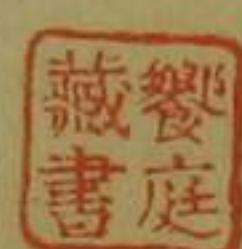
之せもよ山家画集

浪速畫鋪

文體堂刊梓



あうるのとせよあら
かちくまきとくとく
てまゆはひりをのる
ゆゑを人のれんにま
せうりとくとくとく



ふるはまくらのそと
ゆにぐるまことせん
まきときすきよもひ
とひさわかがよみだる
よしもとくわんじれまく
其をせを持とうがり

てまきゆくはせすがよ
きぬうめゆきし、せわの化
きくよこゆあちく一難
うむれこむてます、
うかおれこもるい
ともかくお病くうきに

さうへ われしを申向ひと
一本を齋すて原木をあせり
やうは悔はせむとぞ
う苦て身のひのひあつて

あらま
ゆき

序

あみぬまのがるを。朱雀社くいも。ねまきまわ
中ノ。魚ノ。あらかあらかち。作者をたき
をもあらかじ。ほくと。ほくと。在郷社中將と
うやさざく。田舎石場は薪。収意。や。や。や。
し。腰して。おまぐら。文。辭。は。氣。お。き。よ。
故。本。字。稚。俗。下。搾。だ。と。ふ。と。と。と。
園。け。つ。ゆ。く。の。萬。粹。な。り。ら。書。し。て。れ。す。酒。屋。
社。中。一。じ。め。う。と。と。と。と。と。と。と。

京傳ある。こくに却のや。傳がまほの筆を
かすり野の。若紫ひもとこ本ぢやる。

上田秋成作

篠安又号休西林無脇翁
京都人

宿 麻 疾 欲 上

むやがくよのくせら。むかく乃
後やか。今はせのへ。心辞ひくせ乃みとも。
たけと麻。居まくらせ。うじゆも。あきたりと。麻
なきとあくれを。づくと宿疾と。うふ。成。
他へうへ。わうぐそ。乳ま病と。なづき。あ
まく。うむ。まく。もまく。は辭はなだま。あ
らねが。くまくせ。せのす。と。たうき。ま
いや。たう。三や。もゆゆ。あまねく。もはゆ。

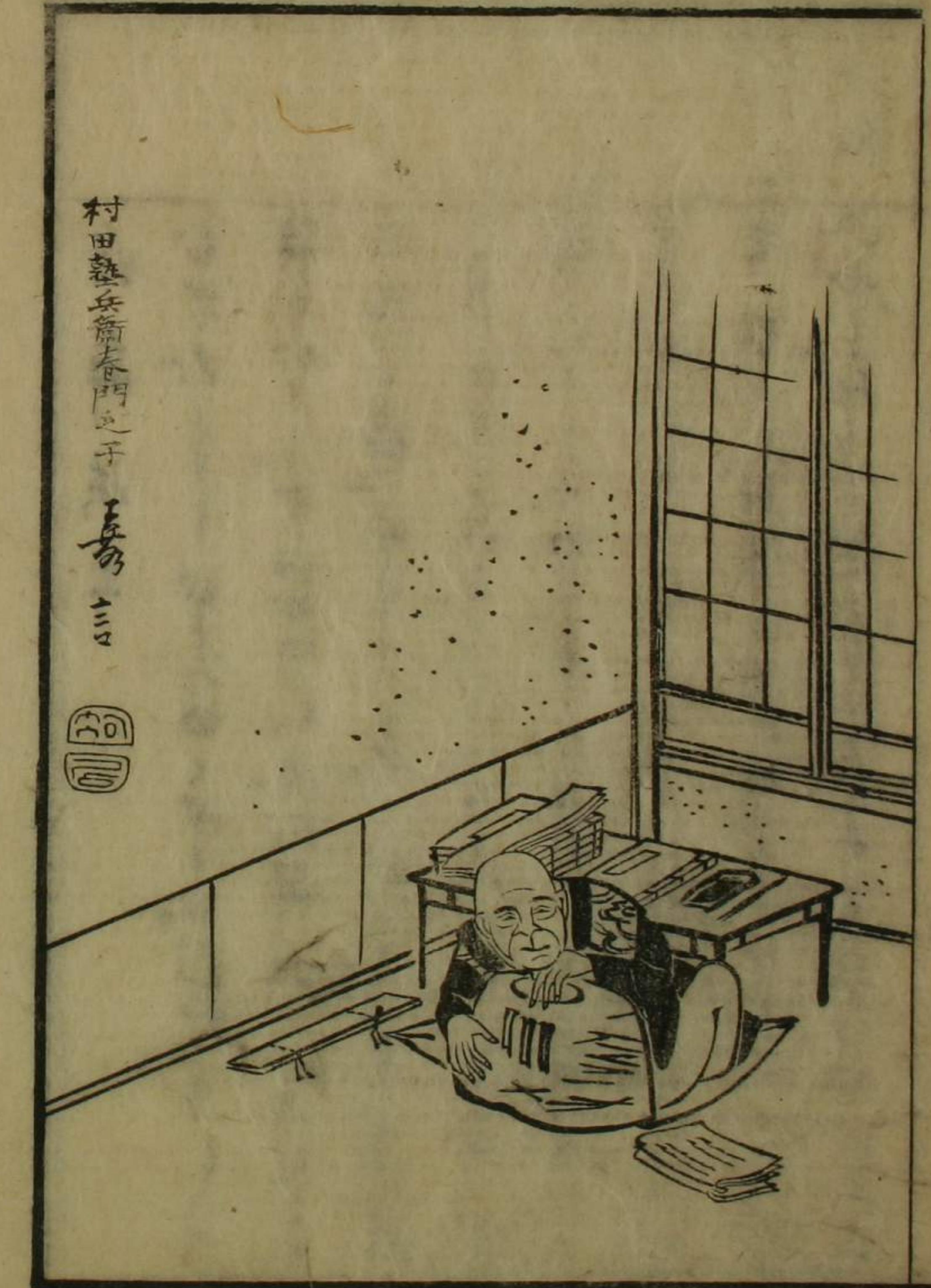
村田塾兵衛春門道平 善言



宿癖疾を。癖を除かうと。よめちよちか。
たまよと。またの写もむく。ちとうじ。ひの
月。去年の大切。十をせせと。のつと。お
おか今まで。かくまで。母子と。おと
ちやにあつ。

○むかへ。まことにあひり。かくねねねを。がく
くも。でりだ。うけ。そなをたとへていも。信
者たち。は。經濟。まわる。四学家。め。よ。古。こ。う。生。
え。す。よ。み。萬葉。ぐ。い。俗。あ。と。は。座。禪。

圓學者。よ。外
道者。二。筋
も。多。い。善
の。業。す。



觀法。二代金持祐。縁者のそぞく。あらへん
也。先祖よげ、足小僧家住乃。糞は酒も
まじいゆ。醫者ひ達魏見識もおちく。幸は
やう。仲景。孫思邈。東垣。丹溪も。瘧をま
ぢよハ。ちよひおおしひばん。爺も様が餅
アリ。ちよひふ銘。うきをおぢく。引經運
氣論。病因隨症。筆端辨正も。木太
刀ひ芝居幸。いづき其ちよをさんどそト一
信。うきね幸。どうなりけり。むくへた。

かくいらむとたる。わきびるをなん。さきあ
むける。

○わやく。物ふかく。やすひわざぬ人聲の
事。こゝろからく。つへりけら。おほく。おせ
り。もともとあきれね事。うみよ。およ
ぬうやゑたうと。あれどもくわきはりて。いた
きたりけり。おまけやうとい事。うどを見
聞。通じきは。並能う。よきあと
みえわれはくことあく。おやきがな

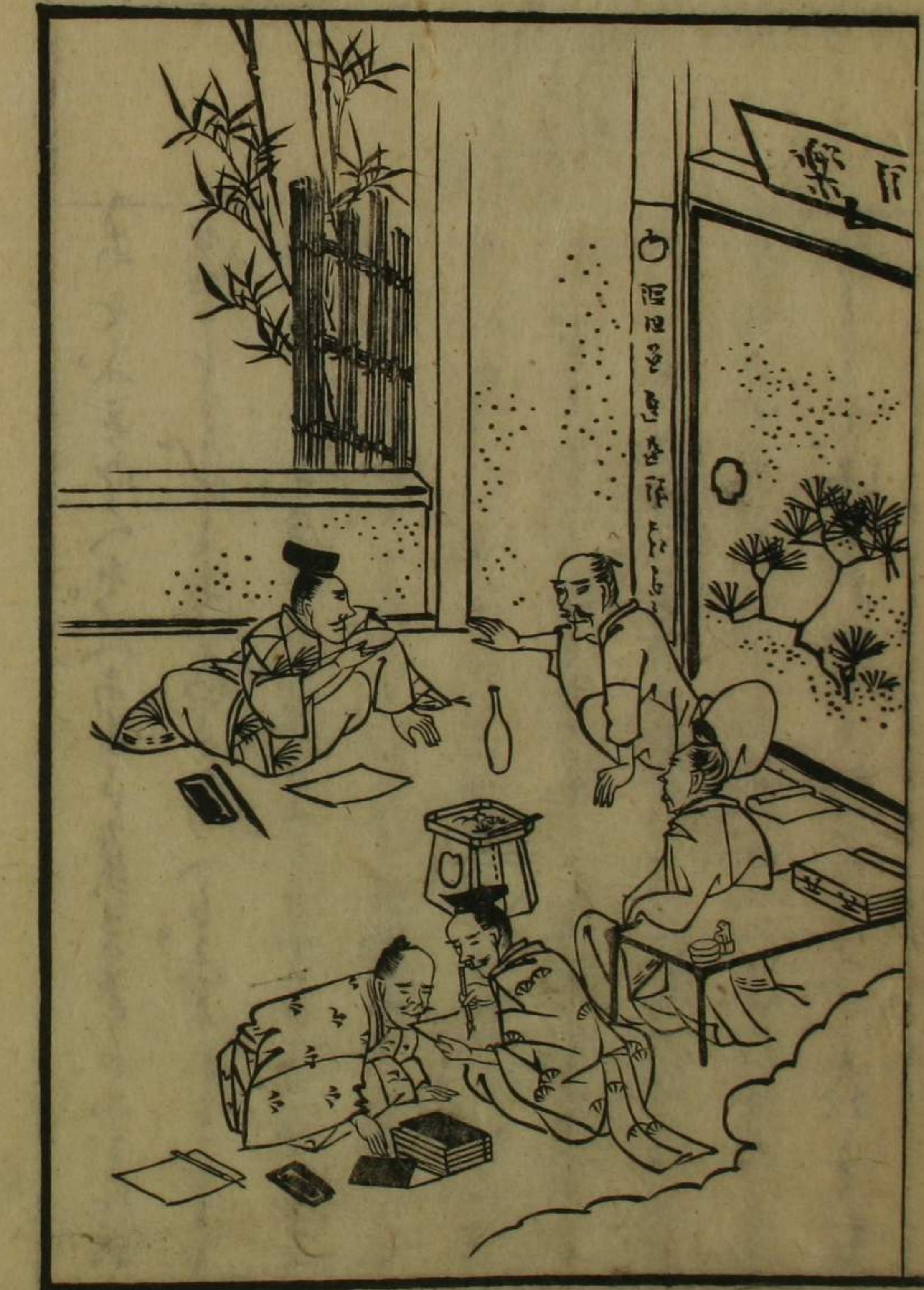
病
病
證
上

や。まじやす。まづはまくち。
ありて。あたて。かたみ。かこひす。
まつはあひ。ひとうたて。まき。ほくま
まじわあび。ひくとろ。あきも。まねやんか
らひ。おみれも。やく。ひく。ひく
が。儒者。とくも。も。あく。ひくす。
寔辞。たひ。かき。今。まう所。
せ。まき。詩文。まく。今。まう所。
まな。い。やび。酒。まく。めぐ。

あそぶもよへし。あまく集まきる。やまと
通す。せうあさがまに。とこよももかく
あくまわぬ。尊主をゆきまく。ふみを誘ら
言葉なり。うきとおひなを物をよく潤
く。今のかまはゆは徳、最妙
なき。よ端を
詰り。あいまく。つきた。もとアリ。まつま
はちや。翁うば。とさく。まく。一きび
まわす。まむか。の栓所。くまひそめ
も。あんれ。一ロもかこた。とれとも

あらうぢや。説經者といひ。もとさ經文
 こうりを。一もくじ説まゆすうち。心もうく
 うて。おがを在ほせむなきと。舞もく
 しむきくもあらむ。こころむか神となむ。を
 おちひまく。はしこをいはせどして。
 奇舞妓も。おのをまわつ。廣ひやま
 ゆみをひく。やまも。詩歌歌ふきくらを
 も。わがよも。やまも。あまくら。ゆき勝手
 なちかうて。泥こ。もく。じごくなむ
 ひだり

事々、歌葉
 故後未禁作
 おりひ入る
 茅、仕うらと
 いひく分甚
 延主をさと
 ねぐらもと
 ひだり

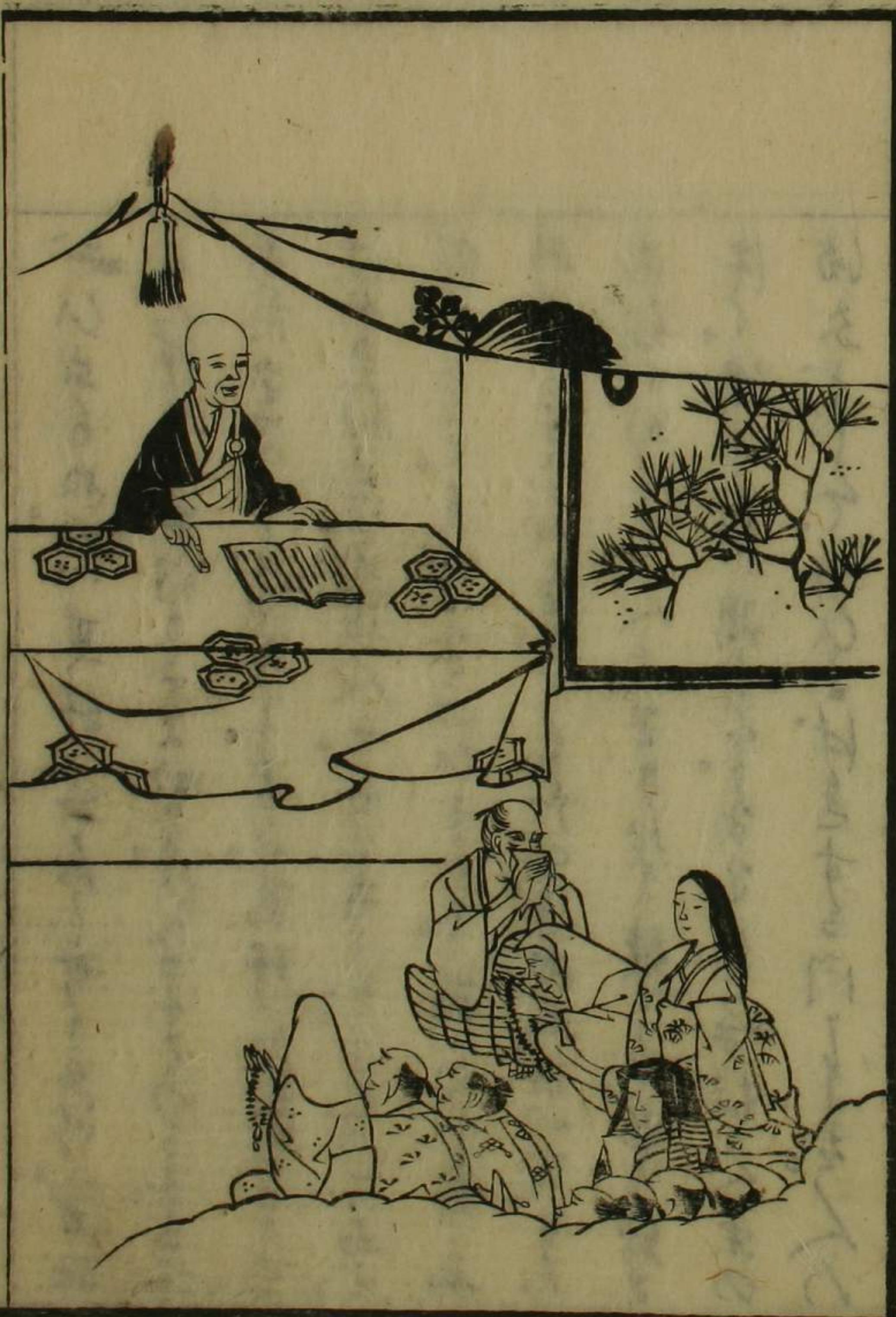


觀音がう。近
ねがおもはれ
まふよて、大
師がうか。遠
くねえ。後
ふをりて其
年せはま
るをなぐ。

せ説ひ中。ユサキ。一章。なるをまぐ。も
あ。へく。もくす。奥あるとす。が。観
音めぐる。やうく。やくら。ぬや。大師めぐ
やん。鄰波人。いと。まう。たち。さわぎ。け。
神。う。山。彦。ま。あ。り。い。ま。田。金。ま。そ
ま。ど。山。山。山。山。山。山。山。山。山。山。山。山。
ともく。け。ね。と。も。を。く。も。女。も。お。い。く。う。た。よ。
わ。ぐ。と。田。う。す。う。し。よ。垣。ま。い。わ。と。も。れ
う。つ。め。く。う。つ。ま。う。す。う。が。通。よ。や。こ。た

を。き。け。れ。く。あ。た。れ。や。う。と。見。た。く。ち。足。
あ。く。と。人。裏。か。づ。ま。娘。足。と。と。く。よ。か。ね
ほ。説。と。き。出。あ。て。そ。や。う。く。ね。ご。と。て。さ。る
あ。や。あ。や。と。も。お。き。し。物。ね。ば。る。み。せ。と。さ。う
は。て。や。う。と。と。と。あ。と。ま。く。ま。う。ほ。ま。す。あ。う。と
か。ま。と。く。と。と。お。び。ま。ま。か。ま。よ。う。ね。仕。業
ど。と。き。そ。今。み。こ。と。だ。だ。れ。き。と。と。と。あ。が
ら。と。あ。い。り。ひ。あ。と。さ。れ。て。れ。お。ん。れ。れ。

本みえを。いのまつむすめと。大かくも。あくまで。おもて。おもて。おもて。おもて。
よだね。おもて。はるかひかて。やいわう。と
あらざき。あま。老たらさうね。狸など。と
ぬ痴か。おもて。おもて。おもて。おもて。
よき人。なれきく。おもて。何おもてを
見く。おもて。おもて。おもて。おもて。
げ。おもて。おもて。おもて。おもて。おもて。
わ。おもて。おもて。おもて。おもて。おもて。



おひうちのねかへ其外ぢりへすま。おお
をすすとおゆきよかじなよつるをま
あたはう。おぎか。ちく医師もむかとて
けやきいたゞひのくを。おもてうらむす。
賑わく。おもてひき。病ふ人。看病
せん人のくわくを。うちたのよせ。おひのよろ
あじがく。人よをよそく使して物を贈り
は。酒をれ調して。おひく。味むく。薬の
湯ふく。おひふげきす。門ノイヒ。人乃

生いゆやく。家居もろく住あ。花たぐ
はく。某種もとたをけりてかひいき。某
益をうる。さけりをすくわ。嫁くよれな
だち。某益みとくう。某庄あげや。ある
かよけきゆ中やど。とすくを教をあ
とすきを。おひづく。ふだけつきでかく。ま
回むかこよ。禄たるすくし面同あらむ。れ
りう術のはまきかとくしが。きもつとあらむ。れ
いも稀みて。おゆきを。銀主もきつま



はくにあらがおゆく。まくをとこ女け姫の
風。桜のかざむ。こもれみをあひく。さめ
ぬとは柔き。けの栗皮いん。こやこの。若
翁アライうつ。吾萬乃ち。流華ヨウハ
アリ。あくそが。せいでもあらひ。今
こもれちよたのまんねをひきあじかく。白茶
あさた風あじ。林むらわらぢをさへ花や
なまく。まのあくそをぢかく。をいは
きく。た瑞瑞甘紅かす花いろ。あらだす

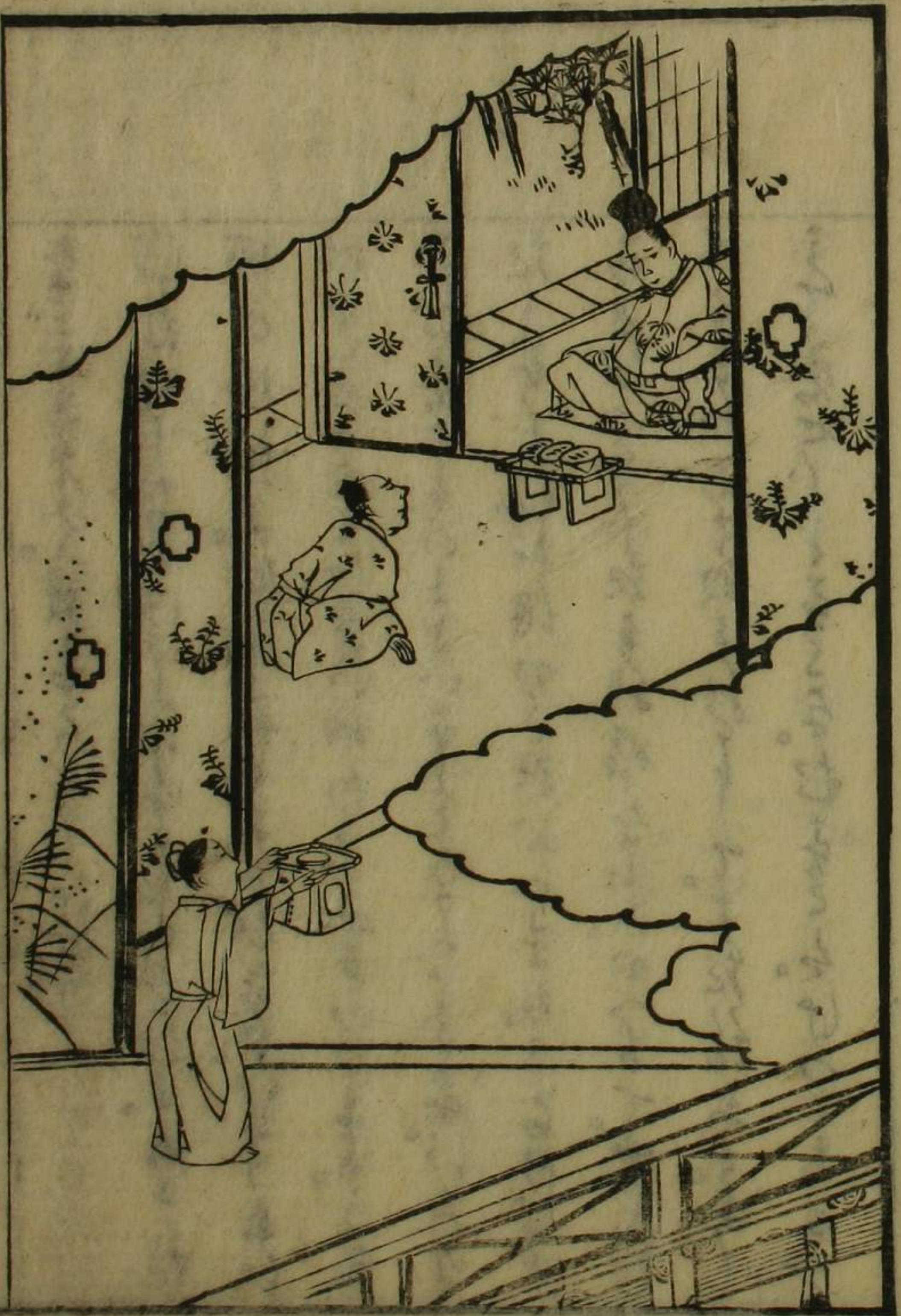
ううらじあけよ。あらま寫たちぬ。しるも。
むかしをもはよきて。羽鐵はづ。小袖こづの仕
たて。紋ふみおほきよ。いまが。今ううじと
すも。れんも。わざたねうせうきたち
けやさあくよも。おもしらか。今ゆ
みく。羽鐵はづ。わづみわづみたぬく。あくじ。す
べれ。うそ。着うへはく。たゞぐ。きな。
ま。新曲しんくあく。魚ういあすとよき人
けく。うづきを。あれ戻もどく。や。あくひ

て。人ひと血あせび。喝く音おとつ。びあまあまひかうまくささく
がえ。なまなまひく。なまなまう。ままかかなまなまく、
くまくま。うたむはやせやなうけうけ。行ゆ事ことに
あきあき。ままよよ。ままうう。ささく。ままの。ままははう
ややききあくあく。ままの。まま。

○むかし。やんごとなき家いえトときあわねね人ひと。
おみ中のままはく。くくく。まめびまめび。あくねあくねた。た
金銀きんぎんおゆくねた。よきを。よ。あくあく。ひひげ
あ。姫ひめは。屋助やすけ。もと。もと。よと。よと。ままの。まま。

万葉集
大きみの時代
さうさんとあ
づみやく、みを
めくらむる

ちうちうわくしまで。うやまたまくがりけ。
ちくこいつことおもしはこうつ。恩みせれせ
せんくまくよ無れ。うながちくしけ。ふね
ちとこよ声あくようかく。あまくまほゆき
す。うちらひきてはやまとたまゆき。みゆく
せ小田井やまと。さぢく出金井花をさく
す。利足のぬく。扶ねかくたるば。何
拾行せ席あく。成功の家がくみひさをも
せりこみて。よとぎとかくへいみくまもまも



な。もあく。腰あく。い。

○むか。ちまち。たまくわゆけ。あ。柱
所の娼婦。あそびます。うおひ
はすくまにき。はわら。やき。じき。うも
のむもこ。いとよいを。な。さくめ。いんを
たうち。おほかみ。おやま。うちひす
あとひつま。たま。娘など。かつて。中あ
くくく。あまねき。うで。よだれ。あどき
え。あらせ。とま。むちこ。げつく。あらが

中よよだを。うで。をひの。夜おれい
かくを。おこま。ひど。おやまのか。よ。いつ
く。おもひ。くま。博愛など。き者
アホめ。人形をつよ。施政など。よく
うつし。とよ。おやま。ホホ。舜とお
むすとさん。かだ。なぐ。今おむすとさん
たち。を。おまく。う。おほく。
蒸。湯。俳諧。学文とやう。い。まよこうすた
とも訓尽矣。

まじく人形浮瑞福ミナシ。など。左のな
あそびも。まくらをあそび。とあんちくへける
やうす。在所中のじゆすけは。あやう
はれき。まほやき。儒者。詩文。風流。そ
通は達人。が、人情。通じる。
まくらを。粹能容。非。苟。も。浪。と
子。粹能容。非。苟。も。浪。と
雜。と。金世。

まじく。形浮瑞福ミナシ。など。左のな
あそびも。まくらをあそび。とあんちくへける
やうす。在所中のじゆすけは。あやう
はれき。まほやき。儒者。詩文。風流。そ
同。く。通じる。まくらを。通じる。は
く。秀句。口。あひなど。拘。よく。し。身。酒
おうへく。み。あそび。まくらを。た。右
筆。おうへく。かひ。利。を。射。まくら。欲。舞。下。故

粹。を。り。く
通。と。く。六。書
ふ。所謂。轉。訛
論。語。五。十。而
知。天。命。と。す
鯉。長。由。男。子。の
人。な。り。賤。獅
言。を。食。却
て。幸。を。と
り。す。

○むかし。いんこのむをと。あそび。いうす
も。して。おやまく。おもは。まん。と。まん。を。つく
け。ま。と。や。も。ま。れ。と。さ。舞。底。あ。げ。や。み。直。了。玉。子。
息。役者。幸。頭。持。あそぶ。わ。う。き。け。わ。か。き
金城。を。放。く。



よやく

いそげの心情して。こまきこまきゆくも。とす
じんじんをつきて。とまきまきゆく。金

をつまきゆく。とまきゆく。かゝる
けふ。とまんといひ。うべあくわきゆく。あわ
ゆき。

○むかし。おとれおとれ。常おとれ。いつ
けふ。書をよむ。文をよむ。ためり。とあれ
かちよい。おとれ。常おとれ。かげ。おとれ。おと
れ。おとれ。おとれ。おとれ。おとれ。おとれ。おとれ。
おとれ。おとれ。おとれ。おとれ。おとれ。おとれ。おとれ。

癡痴譜上

と孫康、れ
足の家の折
きひきへ、匡
衡のまこと貪
人か。

やあ。浪華。書籍あるを買つて。もたら
とよくもこぐね子ひをつひやすへん。ひ
稀なゆとり。茶器あるをあそぶ人か。
こう見て見ぬばかる物で。それもあら
うと。いくと戻入りて、ちたらをやけたり
今うみせのまこと。源氏ものかくすりへ
家より外とモとちたら装束とおはすあら
かく。き姿がまき。うちれくわともち
かく。きく。かく。かく。かく。かく。かく。
詳づく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。

なげふ。作法
うて、居まひ
たがすと
かく。
我の学友の窮
きよ、三者
清ひめ意見
封事み弟四
争ふをす。

なげひたる作法よりは、ひて、えどもくわさは
やもなむ。とかくとも、おほやまくはくつまつ
儒者とも。まづたとをとんとく。あまく
とくいふを。又田舎よもやから書生の玉を
いづむよ。ひとを話して、ひきうち。寫すと
わらむよ。書物をひくと、ひくと。とある師がうす
まづおぼえて、まづなまくひく。とある師がうす
き。

一照、帝語
竹、鄉黨篇

卷之三

まもつて、かと
と見えり。

あゆけと。其せみへ。郷黨から家をもよむ
や。室からまへあらざり。おぞい。割截
わ葉ふあらぎ。すよ。透奥書付なまく
がたひす。まぬ。お葉と称。めうき。お葉が
まつとそ。よひ女房と。青院をひつけぬ妻
をさじ。利休げ。利休下駄。大ニ中
漸。八百石魚食と。斧鍔とをすつまつ。元
月五日。とくとく。とくとく。おまかし。是
を。ちやつせぬまことにん。まわらあし。是

いひもふ。
○むかし。くみの相をつくる。あつた。よき
子はくわくじゆうて。幸福をもす。而
あきらめ。たゞそんが、からなま幸ともを。後と
よくくわくじゆう。わゆる。せつわく
人ひくとく。幸福をひふたまひ。やう
く。もぐりとまへぬ。何事もまぎ
よとも。行半く。よき事。左半く
を。左まく。よき事。右まく。
たゞく。もぐりとまへぬ。よき事。



さうかうかあらまかひをきひをかじ。エ
モロ打強はつひをかじて。いふく。おこす
すくは財運をもうなひて。くわらうと
幸ト。立とあよ。つむたて。
○むかへ。くそやあたか一人。醫者かね
たるが幸ト。おぬくあるけ。そらのひよ。
傷寒病。金匱。素雖。子金方かたてと
あくわやをあたかめ。ま。醫通。温疫論など。
後世をくも。ゆとかくと書きとも。わうて。

むくや衆方規矩。手引草紙三十四枚
がく。さく。さく。さく。さく。さく。さく。さく。さく。
たく。竹十鈴何銅ふく。あく。さく。
けく。そ。安のへい。う。や。め。ぎ。う。す。
め。う。ま。つ。あ。ま。く。よ。お。こ。ひ。つ。ま。く。す。
か。の。ま。き。ぎ。安の醫士。ま。ち。せ。ま。う。く。
じ。そ。う。く。病。く。じ。そ。う。く。あ。う。く。よ。う。く。
か。く。く。け。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。
あ。な。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。

あ。く。く。大。か。く。き。ち。や。び。か。く。り。け。く。ま。く。佛
み。キ。つ。く。か。く。こ。紀。法。師。お。け。事。り。現。世。を。ま
も。く。く。す。く。ほ。ん。ね。大。歎。を。や。く。く。た。と。して。人
乃。や。ま。ひ。き。く。座。く。た。と。ひ。ま。す。や。ま。ひ。お。こ。す
や。ま。ぶ。恩。謝。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。
き。ち。き。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。
御。度。は。た。ご。ひ。き。ハ。つ。く。ま。た。け。く。と。れ。ん。さ
ふ。を。あ。く。ま。あ。ま。う。る。人。を。唐。山。お。ま。ま。り。
ま。ま。ま。づ。づ。し。か。だ。り。ま。の。を。置。り。ま。く

礼聘 東帛
次大為賓
召之不至
主之禮物
奉之

たてまつりけとく。唐山と東帛と
のし。吾國とくと。神代を幣へし。天子を
重いもてたてまつる。お御とく身錦おた
ぐむちゆき。さて人皆至り。賄賂もひ。俗
ノトモト。無くもと。神代とよひ。俗
全般はモトイとあくわせり。そむをきふ
たまふ。翁が事あまつて。併びすへよ。
さくねとわうあらや。いといがへと人ひ
す。

○むか。乞あひものかへこきをとあひける。
かねきつはひど。おやまをよむておをうけ
あく。つねにほこうてつむき。さへいで。お慶
アリ。かねきつひき。まほり。ごめり。くまぐ
きく。よとすく。あひき。逢じとお婿婦
お。きてわづひひけ。たまく。よとびとたむ
ひたの三てを。少とくつみ。げり。づくすと。
よとく。わざとく。たまく。げり。うた
てうとむ。おきあら。お御かりけ。月のキ
あはがん
次大為賓
召之不至
主之禮物
奉之

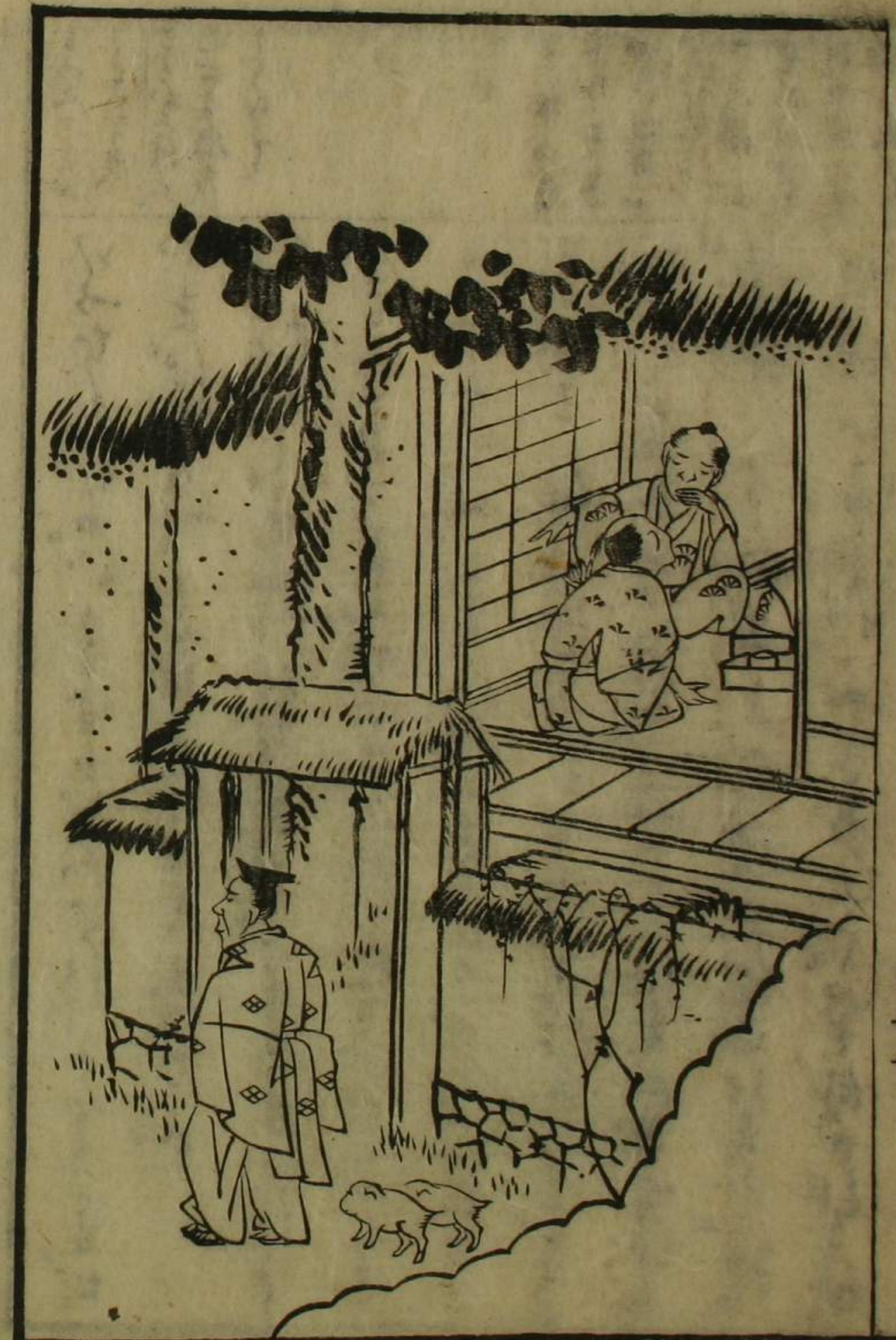
病病錄上

かき曳。あはまかをととたぐ二人。駕くま車。
ごくもくて。金ス即ハ御内侍などつまむ
がむらうま。多めうりの
葬ねづくをざ。あむたあす。鬼あむとくも
あ。で。まくまくけり。せこひけみかく
トモ。新よくわつてみてもをとと。やたくわ
うわげをうが。うとくをとと。こまわをと
とり。鬼よきわくきわとよ
くさを用たり。ひげもまく。女ひさす繁しきくとくを
たり、



け。もと。人を。もと。まふ。下を。かが。うつ。ちく。と。す。
う。せ。と。ひ。る。男。あ。び。ゆ。て。ほ。ど。甲。斐。あ。
さ。ま。も。お。り。ひ。か。き。れ。ま。う。あ。ま。び。い。く。そ。ん。
う。み。あ。~。血。み。ち。く。を。か。づ。つ。あ。や。に。
か。け。わ。を。や。る。皆。と。く。ま。と。じ。け。う。は。
價。と。こ。う。二。十。兩。ば。う。を。や。れ。あ。げ。て。や。を。
さ。や。た。く。後。よ。く。は。ま。と。彼。被。被。み。盜。く。ち。あ。や。
ま。の。だ。く。と。と。い。ま。く。家。か。り。く。と。ひ。く。
ま。な。り。す。で。や。る。見。く。か。ん。あ。け。ま。を。鬼。と。
見。判。を。ど。よ。

まめやくわ
さきなみ、
さうおろひ、
玉石を磨きに
ようだる、
やまばすわか
くそにえのとあぐだん。
○むかし。糸竹（よし）もあそび。小舟（こぶね）をいはる
をとくとあるをよ。かなくおりのをとせぬ
まゆで。打き（うち）つもくちをとめたまげりま
さく櫛（くし）の茎（くき）
とたゑ案（あん）と
塵（じん）故幸（ごこう）と
さくさく達（たつ）あざくとく。いみどきはきわぎ有（あつ）じよ。
枝架（さじか）たゞかる上。毛禮（もうれい）まばゆちあぐれ
灯（とう）けしゆきか、やきあひく。いと匂（にお）もく極（きわ）



だすのゆ
じたうけを。こねもん。人ぬむとくとおまゆ。とて
ゆがむとよ
さちがひこ
のまゆあす
アカモ。スミ
きくゆめじ
まきだく会
ぢり、
葵色文紙
女女琴箒と
彈習もくも
娘と黒勢
きとせじ
たせうど
出すとあつきて。かの上を珍名あるをくじら
つじのよくと。なよか。自賄薦すなよか
えを琴箒
縁竹六八

四
通と風流
事あが
居り。あたはまくはれよひまくら。錢湯
髪心ひととて事くはれよわむねがく
なごり。あれを平やす。宿ひじくまく
えあてさんあも。いとあま。

○むかへ。人びつまかげ。其をとみかく
おぬきに僻あひて。ねづくづくもあらぐ。う
かきあつき。けり。まのけき。けきな。いさゆ
うふたまき。小袖。羽の。くわ。

まくらつ。坐たてや。け。男。ふくらむ
つあて。まく。ニシテ。ありてや。と。うだ。ひづき。
ふよ。き。まく。ひづき。が。が。く。行。あ。く。
絶た郎とす。後曲。下氣。お。う。お。う。
け。まくら。か。う。け。まくら。あ。く。う。う。う。
まくらの出。まくら。ば。こ。女。と。う。耳。に
は。つ。まく。物。ひ。まく。う。け。た。まく。う。う。
ゆ。か。ね。き。まく。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。と。よ。あ。せ。ひ。て。あ。う。う。う。う。

ソテ。はく女仕立をつきて。男仕立をきだるを
ス。ながつる。まわきら。ハ百屋の。おまし。うるけ。
おまやもじ物うち入だる。お龍もきはさみて。つ
入あす。あれ。ひさま。年をとす。あく。医局
がくうけよ。すくはる。たきだる。こほくさんへ
らむねま。ふいと。にき。さかはい。いとす。せ
とだかたへ。あの。むつ。あらう。あれ。うとう。ゑ
すう。アケ。をあく。で。そくを。たま。かく。と。炭つき。
おも。うつ。姐板。みかと。かた。く。鍋。ざく。



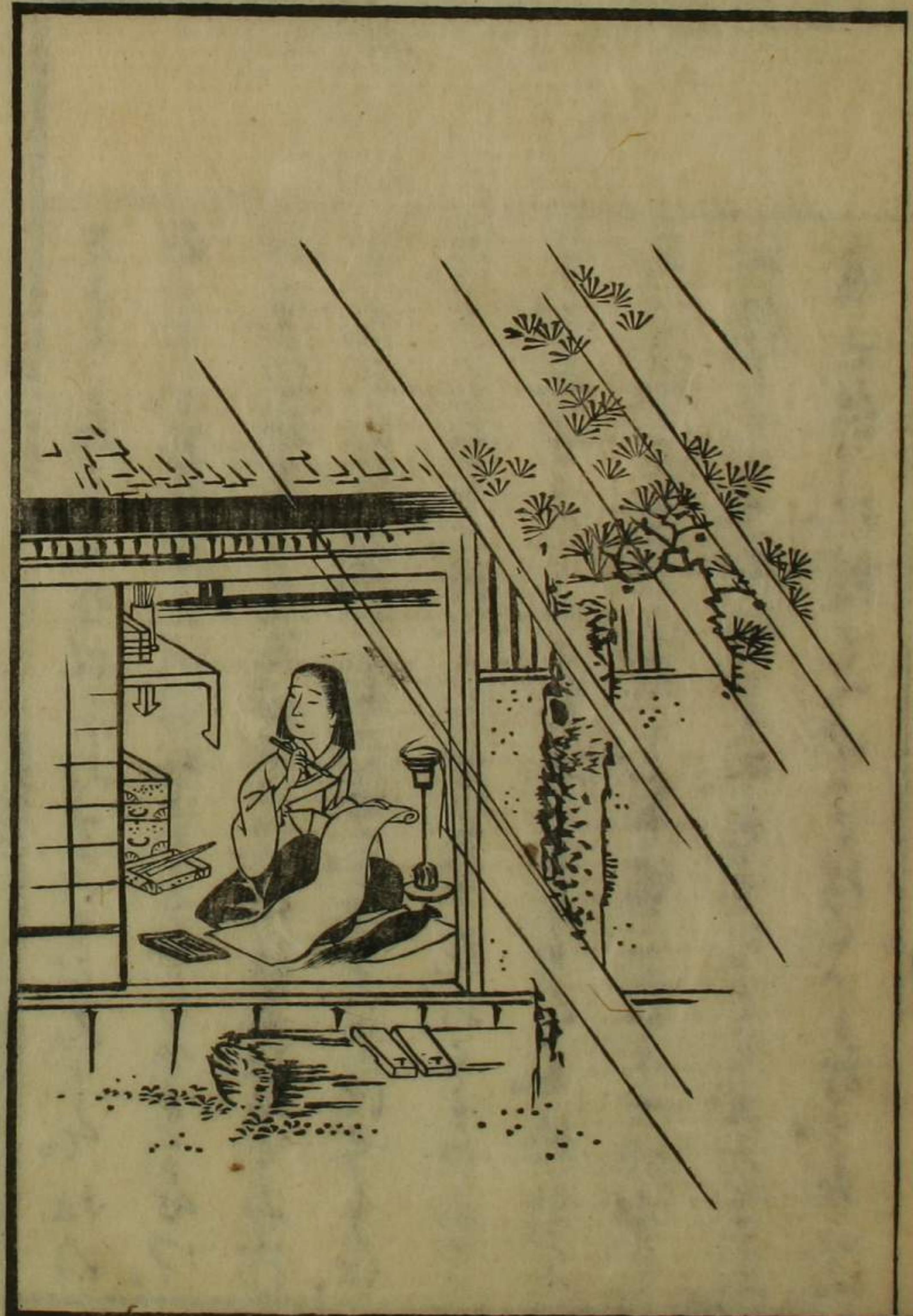
あまく。やうくと湯煙。うまくさむへ
乃。こくよまく。薫すて。あまく。めぐら。うらゆすて。
をばく。吸せきて。もくく。ぬあらまく。あは
アリケラ。うちまきて。いとあまく。つみぞく
え。あらきよく。風あけ。おきく。ら波。きく
こくねて。ときかく。とくとづだり。其後と。わ
きく。とあらび。あらび。けり。
○むかし。人おもしものちうをんをあひり。
たちまわさゆして。多め。あゆく。き
たり、

すきみ。和音。二家。まだ。水をまれば。京
おかく。かきあらし。柔かよそ。もぎくゆ
あど。なま。わざく。なまく。あくまく。けり。うは
たのまつる。よひうねの。人。とて。石。これ。あは
き。キ。よひ。た。ぬゆ。酒。き。あそび。めぐら
など。手。まき。ぐる。あむき。こくつ。あき。
ひ。さく。ねべく。もあく。ひ。つた。の。もく。けり。ま
月。おもひく。けり。この。あまく。まや。どの。ある。

心さうへくて。とたくゆきまきへりおこす。
本よつてよし。おもひへきよんじへども見
せつ。ほきをひおもひもへせ。まづのもの
う。今もはれくわたりひやきて。やとす
道からぬめ。思ひて。経よし。花つる。
せうみハ今精
をせゆる者
多とす。

ちぢみなむて。おもひじけるや。こころも。
主おこりや。おもひぬうして。おひがみの、あ
き。さてと。通つる。べきはうだらすれど。
つり。鬱をたすて。おもひのびき出でけ。

きより。おなはうれひやどり。ねの
あく。見ひいのやく。こりをすませつ。
おもひぬかよ。念体へ。ほひ盡たのまが
をく。あもたぬがく。おもひぬ。おもひやはざに。
あもたぬ。あもたぬがく。附たぬたるに。みくら
あく。あく。あく。附たぬたるに。みくら
あく。あく。あく。附たぬたるに。みくら
おもひぬ。おもひぬ。おもひぬ。おもひぬ。
麻木絆。糊まへて。おもひぬ。おもひぬ。



うき。菜つ。水くふ。たくもうなど。修行のを
らむを。物くろ、檀家へとそもへづ。だよ
重ねうらたらく。持はくを。男僧がなつ
ふゆけまく。解あむひみちん仕事。よも登
いとまあび。人びかげぐ。見たくまく
つむぢ。嫁とののむだら。多度家がねとだ。
不義じよあひあつるをひだ。うきせの幸
くわみかづひて。妙ゆる誦経計ほざる。
ちを在佛はまちうひよくもれ。いとあきほ

此世界よまたひまへとまへ。おもむき
を出づやひもあたひりゆうじでなまく
あま。おもくわからぬまつてうそ。
ひらき室をもうしごいてほそくとたのも
べきかげとれく。まつひ寺野や。ばいさ
道をといひてまつとあはく。まつまつと
むく。まつまうまく。やあたてまつと。
秋行やつた。たがひてつらふ。おうか
きもつす婆。やどわせん。あるつらごと。
お

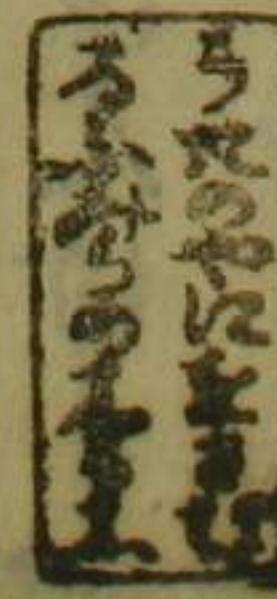
は車のやへ
はまくし
あくびけ
けりまほ
けりまほ
げりや。人間をあわよ尼山出ゆか。いにへび
しむ。おめがさく。このまほげりゆすもあら。
ひそけ。行。ひそけはほの祀針者。まいたうそん
坊入て、たち
えよどぎす
まほ後世楚
主と慕ひ、
○むか。ちや。とくわん
しれをよ。あまわくよくさんわつ師
あく。あくわくわく
あくのよ。物やうたを。ひそくは。
きどあまくす。まほまほがまき。物もあら

下や。あそ竹の麺ちりと。こくらまを。或
人。これをみて。何のれは。教の字を。祇園
町。むすめさん。おひまくも。いと。皮
ふんじゆ。

5年月

5

次上畢



子や。あそ竹の麺ちりと。こくらまを。或
人。これを見て。竹の丸は。歌の字を。祇園
町。むすめさん。おひでまも。いと。と。由
ぢけよ。と。んじゆ。

痴痴謡上畢



卷之三

三
卷之三

